

令和5年度 活動記録

事業所緑化

川崎市みどりの事業所推進協議会



日本電気株式会社玉川事業場
令和5年度川崎市環境功労者表彰受賞事業

市民150万本植樹運動

古市場第2公園植樹祭 令和5年10月21日(土)開催

川崎市では、緑豊かなまちづくりを実現するため、市制100周年にあたる令和6年度までに150万本の植樹を目指す「市民150万本植樹運動」を推進しており、取組の一環として植樹祭を開催しております。

「川崎市みどりの事業所推進協議会」は、この事業に協賛しており、各事業所敷地内への植樹や、植樹祭への支援、社員の参加などの協力をしています。

令和5年度は、幸区の古市場第2公園で植樹祭が開催されました。式典には、川崎市みどりの事業所推進協議会を代表して会長事業所が出席しました。

当日は多くの市民・関係者が参加し、アジサイとセンリョウの苗木約320本が植樹されました。



目 次

会長あいさつ	J F E スチール株式会社東日本製鉄所 (京浜地区)	阪本 岳郎	1
市長あいさつ	川崎市長	福田 紀彦	2
事業所の取組			
	日本電気株式会社玉川事業場		3
川崎市みどりの事業所推進協議会の活動			4
幹事会・未来構想実行委員会の記録			7
川崎市からのお知らせ			8～9





「誰もが暮らしやすく住み続けたいまちづくり」に向けて

川崎市みどりの事業所推進協議会

会長 阪 本 岳 郎

(J F E スチール京浜製鉄所京浜地区 総務部長)

平素より「川崎市みどりの事業所推進協議会」の活動に御理解、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。我々企業が集まる「川崎市みどりの事業所推進協議会」は歴史ある協議会であり昨年50周年を迎え今も尚、発展し続けています。ひとえに川崎市をはじめ、加盟事業所皆様の御指導と御尽力の賜物と改めて厚く御礼を申し上げます。

昨今、みどりの事業所推進協議会の取り組みの一つとして、企業が持つ緑地の景観向上、生物多様性、環境コミュニケーションなどの社会・環境課題に貢献しうる、緑地価値の認知を目的とした緑地調査を、会員会社の数社様に御協力を頂き実施いたしました。結果、その各企業緑地の存在、取り組みから創出される、経年優化につながる維持管理体制や、その場所ならではの生物多様性保全、協働の取り組み、地域に配慮した街づくりなど、大きな価値・効果があることが判明いたしました。私たちの経済活動が依存している自然は継続的に劣化しており、その対応が国際的にも企業責務として求められる時代において、足元にある企業緑地の価値化、発信、利活用が大切であり、有効であること、国が推進する様々な自然関連の施策にも適う取り組みであることを理解し、良好な都市環境の実現、私たちの持続的な暮らしに繋がるものと捉え、今後も会員会社皆様と一体感を持った企業緑地の取り組みを推し進めて参ります。

さて、本年7月には川崎市市制100周年を迎えるとともに、10月には、これまでの歴史や資源・強みなどを振り返り、次の100年に向けて、「みどり」について皆で考え行動することで、誰もが暮らしやすく住み続けたいまちへ繋げていく為に、全国都市緑化かわさきフェアが富士見公園、等々力緑地、生田緑地の3つの会場で開催されます。我々「川崎市みどりの事業所推進協議会」の取り組みをしっかりと市民、地域の団体の皆さんに伝えるとともに、「川崎らしいみどり」を全国に発信してまいります。

最後になりましたが、「最幸のまち かわさき」を目指し「みどり」ある豊かな地域づくり、まちづくりの推進に、皆様とともに取り組んで参りたいと思いますので、引き続きの関係者各位の御指導、御支援を賜りますようお願い申し上げます。



「最幸のまち かわさき」をめざして

川崎市長 福田 紀彦

「川崎市みどりの事業所推進協議会」の加盟事業所の皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

また、平素より市政に対し御理解、御協力をいただきますとともに、本市の発展に多大なる御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、4年ぶりに開催した「多摩川花火大会」復活や、「川崎夜市」のエリア等の拡大など、コロナ以前の賑わいが戻ってきたところでございます。

これも一重に、事業者の皆様が、現在に至るまで、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会活動の維持につきまして、多大な御協力をいただいた賜物であり、ここに改めて感謝を申し上げます。

さらに、昨年は、本市の脱炭素化の推進において大きな役割を担う、「川崎未来エネルギー株式会社」を設立いたしました。地球温暖化がますます深刻化する中で、今後、再生可能エネルギーの地産地消を進めるなど、市民や事業者の皆様と協働しながら、環境先進都市として本市がこれまで培った技術を活かし、脱炭素社会の実現に向けて、持続可能なまちづくりを進めてまいります。

さて、今年7月には、いよいよ市制100周年を迎えます。

この市制100周年という歴史的な節目に、川崎の発展を支えてきた「多様性」の価値を改めて共有し、未来に向けた活力ある「あたらしい川崎」を生み出していく新たなスタートラインとして、市民、企業、団体等の皆様と手を携えながら、「多様で多彩なアクション」を生み出していけるよう取り組んでまいります。

また、市制100周年の象徴的な事業となります全国都市緑化かわさきフェアを、全国で初めて「秋」と「春」の2期に分けて開催いたします。富士見公園、等々力緑地、生田緑地の3つのコア会場のほかにも、駅周辺や商業施設など市域全体で、市民、地域の団体、企業の皆さん等と一緒に「川崎らしいみどり」を全国に発信してまいります。

協議会の皆様にも、川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会委員として御協力いただいておりますこと、重ねて厚く御礼を申し上げますとともに、この機会に、改めて多くの方に、川崎を「知って・かかわって・好きになっていただく」取組を進め、次のあたらしい川崎の100年を皆様と一緒に作り上げてまいります。

最後になりましたが、市民の皆様の貴重な財産である緑や水などの自然環境を守り、次世代へ継承していくため、今後も引き続き、皆様の事業所の緑化を推進していただくとともに、本市の緑化行政に御理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

事業所の取組

NEC 日本電気株式会社 玉川事業場



所在地	川崎市中原区下沼部 1753
操業開始時期	玉川向工場として 1936 年(昭和11年)、無線、真空管関係の生産を開始
敷地面積	約 170,000 m ²
従業員数	約 18,000 名
主要事業	ネットワークサービス事業、グローバル事業等

みどりを活かした取組

◆時間がつくる緑の価値

竣工からの年月の中で、当該地の緑地は、大きく成長し、地域を緑で包み込んでおり、景観向上、生き物の豊かな環境づくりにも貢献しています。

屋内からガラス越しに眺める庭園の緑と屋内に配置した植物の相乗効果により、社員への緑を介したウェルビーイングを実践しています。



◆緑道の提供

武蔵小杉駅、向河原駅をつなぐ沿道には公開空地として広く、安全に歩行できる歩道が設置されており、社員や地域の方の通勤、通学路、生活道路として活用されています。

多くの木々も植栽されており、暑い日の日差しを和らげる木陰や街に季節感を感じさせてくれる光景も提供しています。



◆広場、利活用空間の提供

地域や川崎市イベント、賑わいづくりに利用される広場やホール等の施設は、社員、子供たち、地域の人々が暮らしを楽しむこと、安心、安全な社会をつくる場として利用されています。

また、散策やペットとの散歩、近隣の保育園の屋外活動などにも利用され、「都市のオアシス」としても機能しています。



川崎市みどりの事業所推進協議会の活動(令和5年度)

4月28日(金) 第51回定期総会・講演会

定期総会につきましては、これまで、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、第48回から第50回まで書面開催で行ってきましたが、本年度は 4 年ぶりに集まって開催しました。当日は会員事業所の皆様のご協力もあり、滞りなく、懇親会まで終えることができました。

【定期総会】

参加者 20事業所27名

場 所 川崎日航ホテル（川崎市川崎区日進町1番地）12階

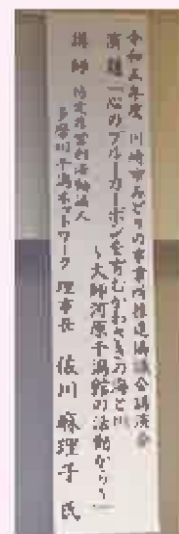


【講演会】

演 題 「心のブルーカーボンを育むかわさきの海と川～大師河原干潟館の活動から～」

講 師 佐川 麻理子 氏

(NPO 法人多摩川干潟ネットワーク理事長／だいし水辺の楽校事務局長)



6月9日(金) 川崎市環境功労者表彰

表彰事業所 日本電気株式会社玉川事業場
部 門 複合的な環境保全活動の推進
場 所 川崎市役所第4庁舎2階ホール



表彰理由

緑化率や緑化面積等、みどりの量の視点からの取組のみならず、地域や市と連携し、公共空間(公園や街路)と企業緑地とがおりなす緑化空間を一体的に活用した地域の魅力づくりイベントが数多く開催されるなど、みどりのオープンスペースを活用した地域の魅力づくりの取組が、みどりの付加価値を高め、持続可能なまちづくりに寄与しているものと認められ、受賞となりました。

また社員の緑化意識の高揚と、環境や景観などの向上を踏まえた緑化についても、取り組まれています。

11月中旬 緑化啓発グッズ配布

配布植物 ① サクラ
② フィカス ※選択制

【フィカス】

原産地 アフリカ

特徴クワ科分類されている多肉植物で乾燥、耐陰性があるので、日陰でもよく育ちます。



広報活動

機 関 紙「事業所緑化<<令和5年度活動記録>>」
発行年月 令和6年 4 月
発行部数 150部
配 布 先 会員事業所ほか



緑地調査 & 全体会議(調査結果報告)



【緑地調査】

目的・経緯

会員企業によって創出された緑地、その維持管理、活用されている取り組みの見える化、価値の顕在化・可視化を行い、共有することで、協議会会員の意識の高揚を図るとともに、協議会の今後の活動のあり方を模索する。

調査事業所

JFE スチール株式会社 東日本製鉄所（京浜地区）

東芝エネルギーシステムズ株式会社 浜川崎工場

富士通株式会社 川崎工場



調査概要

専門家による現地の緑地視察、企業担当者からヒヤリングを行い、緑地が創出している、環境・社会貢献の度合いの簡易評価を実施。

(調査場所)



JFE スチール



東芝エネルギーシステムズ



富士通

【全体会議(調査結果報告)】

緑地調査の総括の場として、全体会議を開催し、調査業務の運営サポートをお願いした、住友林業緑化株式会社様から緑地調査の評価レポートを報告(調査結果報告)いただきました。

なお、当日の報告内容につきましては、令和6年度の緑化フェア期間中に設置する協議会展示ブースに掲示する予定です。

日 時 令和6年3月22日(金) 午後3時15分～

場 所 川崎市役所本庁舎2階ホール

参加者 18 事業所21名

次 第

- 1 開会挨拶
- 2 川崎市挨拶
- 3 会員事業所の緑化の取組(会員事業所緑地評価レポート)
- 4 全国都市緑化かわさきフェアにおける協議会の取組
- 5 川崎市からのお知らせ
- 6 閉会挨拶
- 7 記念撮影



幹事会の記録

第1回幹事会

令和5年4月13日(木) 産業振興会館11階 第5会議室

- 1 記念誌(案)について 2 第51回定期総会(案)について 3 議案書(案)について

第2回幹事会

令和5年6月2日(金) 産業振興会館9階 第1研修室

- 1 全国都市緑化川崎フェアに向けた取組について 2 運営サポートについて

第3回幹事会

令和5年10月5日(木) 産業振興会館11階 第5会議室

- 1 緑化啓発グッズの配布について 2 市民150万本植樹運動植樹祭への協力について
3 執務室の移転について 4 緑地調査について

第4回幹事会

令和5年11月15日(水) ミューザ川崎シンフォニーホール会議室3

- 1 会員事業所緑地価値調査の進捗状況について 2 全国都市緑化かわさきフェアにおける取組について
3 令和6年度定期総会について 4 令和5年度機関紙「事業所緑化」について
5 協議会設立60周年記念事業積立金について 6 未来構想実行委員会について
7 令和6年度環境功労者表彰について 8 市民150万本植樹運動植樹祭の実施報告について
9 住友林業緑化様パンフレットにおける当協議会関連記事の掲載内容について

第5回幹事会

令和5年12月21日(木) ミューザ川崎シンフォニーホール会議室2

- 1 全体会議の開催について 2 令和5年度事業計画について
3 令和6年度定期総会について 4 令和5年度機関紙「事業所緑化」について

第6回幹事会

令和6年2月19日(月) 産業振興会館10階第2会議室

- 1 全体会議の開催について 2 第52回定期総会について
3 令和5年度機関紙「事業所緑化」の作成について

第7回幹事会

令和6年3月15日(金) 川崎市本庁舎2階ホール

- 1 全体会議(案)について 2 令和5年度活動記録(案)について
3 議案書(案)について

未来構想実行委員会の記録

第1回実行委員会

令和6年1月22日(金) 川崎市本庁舎17階 1702会議室

- 1 全国都市緑化かわさきフェアでの取組について 2 令和5年度事業計画について
3 今後の協議会の方向性について 4 全体会議について

Green For All KAWASAKI 2024

国内最大級の花と緑の祭典
全国都市緑化かわさきフェア 開催！

秋 令和6（2024）年**10月19日～11月17日**

春 令和7（2025）年**3月22日～4月13日**

みどりで、つなげる。みんなが、つながる。

全国都市緑化かわさきフェアは、
川崎市市制100周年の象徴的事業として、
これまでの歴史や資源、強みなどを振り返り、
次の100年に向けて、みどりについて皆さんと一緒に考え行動することで、
誰もが暮らしやすく住み続けたいまちへとつなげていきます。

コア会場 富士見公園 等々力緑地 生田緑地
市内全域を会場として、フェアを盛り上げます

協議会の皆様と一緒にかわさきフェアを盛り上げていきたいと考えています！

富士見
公園

コンセプト「多様性×みどり」

・川崎の多様な魅力・文化・技術を反映したみどりとオープンスペースの利活用を展開
・あらゆる人々がみどりの価値に触れ、実感できる空間の創出

会場に続く歩道を彩る
【②協議会花壇】

川崎のみどりの歴史展
【①協議会取組展示】

【①みどりの歴史展】
協議会の取組を紹介！

【②花苗植付け（秋・春）】
協議会花壇を作ります！

秋 令和6年10月12日（土）

春 令和7年 3月15日（土）

一緒に会場を彩りましょう！

企業等と連携した新たな緑地保全施策「かわさき里山コラボ」

身近な里山は、癒しの空間であるだけでなく、生き物の生息生育機能、二酸化炭素の吸収源、緑のダムとしての機能など、我々の生活に欠かすことのできないものです。

あまり知られていないかもしれませんが、実は川崎市にも多くの里山が残されておりま

す。現在、下表のとおり保管理活動に関する協定等を締結し、年2～3回、竹伐採やササ刈りなどの保管理活動を行っています。回数を追うごとに、綺麗になっていく里山を実感していただいています。今後も実施箇所を増やしていきたいと考えておりますので、御興味のある事業所の皆様はぜひ事務局までお声掛けをお願いします！！

保管理活動地区	締結先企業等
栗木山王山特別緑地保全地区(麻生区栗木:2.0ha)	富士通株式会社川崎工場
久末東特別緑地保全地区(高津区久末:0.8ha)	NECプラットフォームズ株式会社
王禪寺東特別緑地保全地区(麻生区王禪寺東:0.9ha)	川崎信用金庫
岡上丸山特別緑地保全地区(麻生区岡上:1.3ha)	岡上小学校 及び 和光大学
久末イノ木特別緑地保全地区(高津区久末:0.9ha)	日本ロレアル株式会社
水沢特別緑地保全地区(宮前区水沢:0.9ha)	まいばすけっと株式会社 及び 公益財団法人かながわトラストみどり財団



保管理活動の様子

公共のみどり

公開性が高く、地域の景観形成に寄与している事業所の緑化地などを「公共のみどり」として認定し、その維持管理・樹木の保存等に要する経費の一部を助成しています。(助成額：基本助成額(緑化面積に応じて2万円～5万円)+30円/㎡)です。

令和5年度公共のみどり事業所助成一覧
三菱ふそうトラックバス株式会社
花王株式会社川崎工場
富士通株式会社川崎工場
味の素株式会社川崎事業所
株式会社富士通ゼネラル
ベトリファインテクノロジー株式会社
エリーパワー株式会社川崎事業所
第一高周波工業株式会社京浜事業所・水江
(株)朝日プリンテック川崎工場
【不動産信託受託者】三井住友信託銀行(株)
株式会社東芝 小向事業所
サントリーホールディングス(株)サントリー商品開発センター



令和4年度事業所緑化データ

協定締結事業所	62事業所	緑化率10%以上達成事業所
緑化率	10.6%	10%台 23事業所
(昭和47年発足時3.6%)		20%台 9事業所
緑化面積	146.9ha	30%台 4事業所



編集後記

令和5年度も植樹祭をはじめとする、市の緑化事業に御協力いただきありがとうございました。本年度も多くの方に御参加いただきました「市民150万本植樹運動」では、毎年みどりの事業所推進協議会からの御寄附により、お土産用の花苗・苗木等配布させていただいております。御協力いただきました事業所の皆様に、この場をお借りして御礼を申し上げます。

来年度は「全国都市緑化かわさきフェア」が開催されます。協議会の活動をより市民に周知することができる機会なので、実施内容の検討・充実に努めていきたいと思っております。来年度も協議会の運営について、御理解・御協力のほどよろしくお願いいたします。



発行日 令和6年3月
発 行 川崎市みどりの事業所推進協議会
(川崎市建設緑政局みどり・多摩川協働推進課)
電 話 044-200-2380

川崎市緑化基金

川崎市内の「緑」を守り・育て・増やすために
基金への御協力をお願いします！

みなさまの
御協力を
お願いします。



皆様からいただいた寄附金は
緑化基金として活用し、
緑化推進や緑地保全、協働推進など、
都市緑化の推進に
役立てられています。



緑化基金を活用した主な事業

都市緑化整備事業、緑化推進事業、緑のボランティアセンター運営事業、全国都市緑化フェア事業、保全緑地育成事業 など

基金への寄附と税の控除について (法人の場合)

確定申告によって、寄附された金額を法人税法(第37条)の規定により、損金参入することができます。

お問合せ

川崎市 建設緑政局
みどり・多摩川協働推進課

電話(044)200-2380 FAX(044)200-3973

(各種助成などの手続)
(公財)川崎市公園緑地協会

電話(044)711-6631 FAX(044)722-8410

日本電気株式会社 玉川事業場

